

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】特開 2005-208856 (P2005-208856A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-030
 【出願番号】特願 2004-13661 (P2004-13661)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療に係る処置、用具等の分割した関連ユニットの情報を目視的、機械的、光学的、又はこれらの組み合わせによって形成された情報を入力する入力手段、

前記入力手段で入力された関連ユニット情報と前記記録手段で予め記録された関連ユニット情報とを比較し、一致する情報がある場合、一致する旨の情報と具体的情報を表示可能とする出力手段、

一致する旨の情報がない場合、警告表示をし、警告表示後、適当な関連ユニットの情報と決定された場合は識別符号を設定する ID 変換手段、

前記 ID 変換手段で設定された識別符号を前記適当な関連ユニットの情報と共に記録する記録手段、

を備えた担体を具備する医療用デバイス。

【請求項 2】

前記記録手段から読み出された情報に、対応する情報であって、より最適的で入手可能な情報を担体に伝達するサーバ、を備えた請求項 1 に記載の医療デバイス用最適化システム。

【請求項 3】

当該担体は、前記識別符号を時系列的に前記記録手段へ記録する請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 4】

前記担体が、指輪状、腕輪状、カード状、ペンダント状、携帯電話である請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【請求項 5】

前記関連ユニットの情報に対応する識別符号を前記関連ユニットに添付可能な形態にする請求項 1 に記載の医療用デバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】医療用デバイス

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記に鑑み本発明は、医療に係る処置、用具等の細分化した関連ユニットのそれぞれに識別符号を付した状態であって、外部通信可能でデータ記憶可能な担体を個々に具備し、当該担体は、前記識別符号を順序的に記録すると共に、当該識別符号又は当該順序に基づいた最適な情報を入手可能とすると共に、表示可能とし、当該担体は、入力される識別子に基づいて適宜、最適な情報を更に表示可能とする、即ち、医療に関連する機械器具、医術、処方、看病など医療行為を細分化し、その個々の事項に対し、識別子を付すると共に、当該事項が、医療行為により使用される際のその順序を経時的に記録することで、記憶するデータ量を少なくし、携帯端末化可能とする。

更に本発明は、当該識別符号の選択を経時的に記録し、当該選択が、その前の行為と整合性、適当性があるかを判定してその結果、整合性が得られない場合は、端末が警報（アラート）を発し、取り扱いに問題がないか促すことで、医療ミスを抑制するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

更に、IDが付されていないユニット、例えば新たな病状の場合、病状にIDが付される。この場合は、入力部206にキーボードが接続され、病状が入力される。まずこの病状にIDが付されていないかを記録処理装置202及び外部サーバ204に検索し、IDの登録がないことを確認する。

記録処理装置202は、この新たな病状に対し重複しないIDを統括するサーバ等から得る。処理部207は、IDと病状間に関連づけをして、時系列情報と共に、記憶部208に記録すると共に、外部サーバ204に登録を要請し更に担体用インタフェース209を介して担体203にも必要に応じて伝達する。外部サーバ204及び担体203は、その旨を記録する。

尚、担体203の利用対象範囲が、この記録処理装置202又は、記録処理装置202が関連するネットワークのみであれば、特にこの病状に基づくIDは、担体203に記録されなくても良い場合がある。

又、IDを担体に貼り付けることができる場合は、電気リード線215を介してID形成手段210でIDがシール219上に印字される。このシール219は、ユニット216に貼り付けられる。